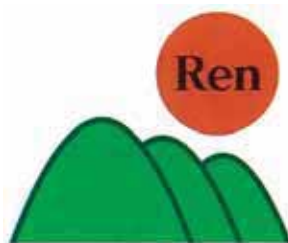


# とやま 市P連



知っておきたい もしものときの対処法  
命を守る Ⅱ冬編Ⅱ  
PTAこんなことやります！やっています！  
今年も市P連がんばっています！！  
携帯アンケート

富山市PTA連絡協議会広報紙『Ren』第84号



めざせ！立山頂上

平成22年7月27日(火) 老田小学校

【発行日 2010.12.15】 発行/富山市PTA連絡協議会 編集/広報委員  
〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号 CiCビル3階「とやま市民交流館」内 TEL(076)411-7901 FAX(076)411-7902  
<http://www.pta-toyama.jp/>

# しものときの対処法

命を守る

=冬編=

はじめに

冬になると、けがや事故が多くなりがちです。すぐに医師の治療がうけられないとき、私たちに何ができるのでしょうか。初期の応急処置次第で治癒や復帰の時期が早まるといいます。そこで今回は、骨折や異物を喉に詰まらせたときの対処法、119番通報のかけ方の特集しました。

## 骨折の応急手当を知ろう

冬のスポーツの練習中や競技中に最も多く発生するのは捻挫や骨折です。

特に骨折は、捻挫や脱臼と同じ激痛を伴い、見分けるのが困難です。



A子さんは、スノーボードの練習中に転倒、「痛い！」と叫んで右手首を手で押さえてうずくまっていました。

応急手当をせず、ふもとの病院へ直行したA子さんが、手当を受けたのは怪我をしてから1時間くらい経ったあとでした。

診察を受けて分かったのですが、A子さんは捻挫ではなく骨折をしていたのです。

そして完治するまで半年以上の時間を要してしまいました。



## 骨折の見分け方

それでは、骨折しているかどうかをどうやって見分けられるのでしょうか？

その判断が難しい場合は、まず骨折を疑いましょう。目安としては次のとおりです。

- ① 不自然に変形している
- ② 激しい痛みがある
- ③ 痛い部分が腫れている
- ④ 骨が突き出ている
- ⑤ 痛みで動かせない

## 応急手当は、まず固定！

痛みの軽減と悪化を防ぐ事が重要なので、まずは負傷している箇所を固定し、その部分が動かないよう上下の関節までをしっかり固定します。

本人の顔色や表情を見ながら手当を進め、負傷部分を冷やしてください。

また、骨が飛び出るなど出血を伴う傷がある場合は、流水や飲料水などで傷口の汚れを取った後、細菌の侵入を防ぐために被覆してから固定してください。

負傷者のいるところが安全であれば移動は最小限に留め、極力、痛がついていると動かさないようにします。

※変形している場合は無理に元の形に戻さず、そのまま固定します。

## 応急手当

病院で手当を受けるまで、または救急車が来るまでの間、痛みを軽減する処置。

### ステップ1

負傷部分を確認する。かなり痛がついているので、骨折を疑う。



### ステップ2

今回は新聞とレジ袋を使用して固定してみる。



### ステップ3

負傷している部分を圧迫しないように新聞で包み込む様にまるめる。



### こんな物も!?

ほかに、三角巾、ダンボール、雑誌、木の枝衣類、ベルト、バンダナ、ゴミ袋、スカーフ、風呂敷、セーラーネクタイ、ネクタイも使用できるよ！

### ステップ6

最後にタオルやTシャツで痛くない高さで腕を吊り、応急手当完了。



### ステップ5

注意！変色などの変化を確認できるように指先を見えるようにしておく。



### ステップ4

手首から肘にかけて新聞を丸めて固定し、その上から開いたレジ袋で固定する。



# 救急隊長教えて!!

水橋消防署宮腰救急隊長にお聞きしました。

●車を運転している時に救急車のサイレンが聞こえたら注意することは？  
★救急車が近づいてきたら、避けられない事情がない限り道路の左側に寄って避けるか一時停止するなどの配慮をお願いします。搬送されている傷病者が、もし自分の身内だったとしたらどうでしょう？一秒でも早く病院に搬送して欲しいと思われたいではないでしょうか。ご協力よろしくお願ひします。

●救急搬送で、冬に一番多い症例は？  
★暖かい部屋から寒いトイレなどに行く際に、脳卒中や急性の心臓疾患を起こすことが結構多くあります。また、お正月は餅を喉に詰まらせる高齢者の方も多いです。好きな物を食べられない事は辛い事なので、餅を細かく切って水分も一緒に摂りながら食べるようにして、喉に詰らない様にされるとういことです。

●皆様へ救急隊からのご意見・ご要望はありますか？  
★実際の現場では、誰しも焦ってしまいますが、何事も慌てない、落ち着いて行動してほしいです。日常とは違う症状が出ていけば、異常と判断して病院に連れて行くか、119番通報をして下さい。

# 知っておきたい



# も

お正月に子どもや高齢者がおもちゃを詰まらせて救急搬送され、時には命を落とすこともあります。また、ゼリー等を詰まらせて、窒息死するケースもあります。何よりも未然に防ぐことが一番ですが、ここでは、とっさの場合の除去法を紹介し、もしもの時に適切な対応ができるようにしたいと思います。

## 気道異物の除去法

口の中や喉に異物が詰まっている状態(気道閉塞)の時は、多くは両手を喉にあて、苦痛を訴える姿勢(チョークサイン)をとります。これを見かけたら、まず喉に異物が詰まったと疑ってみてください。次に、その人に声が出るか問ひかけ、少しでも声が出るようならばすぐに咳を出すように促します。意識があるのに声も出ない状況であれば、次のことを実行します。

### ①腹部突き上げ法 (ハイムリック法)

患者の後ろに回り、腕を後ろから抱えるように廻します。片手で握りこぶしを作り、その親指側を、患者のへそとみぞおちの間に当てます。その上をもう一方の手で握り、すばやく斜め上に向かって圧迫します。



※ただし、妊婦・乳児に対してはハイムリック法を行ってはいけません。

### ②背部叩打法 (はいぶこうだ法)

患者の肩甲骨と肩甲骨の真ん中を、手のひらで上方に向かって力強く何度も連続して叩きます。



※処置中に意識が無くなった場合は、仰向けにして心肺蘇生法を行ってください。

## 119番の利用について



指令室員から、電話を通じて救急処置が出来るか聞かれますので、慌てず落ち着いて対応して下さい。

病院の問い合わせや消防に関する相談など、他の目的で使っている那一刻を争う緊急通報がつかがりません。緊急時以外は使わないようにしましょう。

## あわてず、正確に! 119番通報のかけ方

消 防	119番です。火事ですか？救急ですか？
通報者	救急です。
消 防	救急車の向かう住所を教えてください。
通報者	住所は〇〇町××番地です。 【住所が分からないときは、近くの目標となる建物などを伝える。】
消 防	誰が、どうされましたか？
通報者	いつ、だれが、どこで、どのようにして、どうなったかを伝える。
消 防	意識・呼吸はありますか？
通報者	意識・呼吸の状態を具体的に。
消 防	分かりました。すぐにそちらに向かいます。

## 楽しく怖い(?)一夜の経験

### 四方小学校

8月7日(土)高学年児童が楽しみにしている、夏休み恒例の「親子ふれあいインドアキャンプ」を行いました。

前半はカレー作り・ビーチボール・フットサル班に分かれて親子で楽しむ活動をしました。夕食には出来上がったカレーを参加者全員で頂きました。

後半のインドアキャンプは児童のみ参加で、異学年男女混合で構成された10人程のチームに分かれて課題解決オリエンテーリングを行いました。5つの課題をチーム内で知恵を出し合い協力しあって取り組んでいました。

就寝時は先生による「怖い話」を聞き、仲間同士集まって宿泊するという貴重で楽しい夏の一夜を学校で過ごしました。



## 深めよう!ふれあおう!

### 興南中学校

11月20日(土)地域で活動している方々を講師に迎え、「茶道・ビーチバレー・木工・料理」の四つにわかれて、約80名参加のもと「ふれあい活動」が開催されました。この活動は、地域の方々との交流を深めると共に、よりよい学校環境をつくろうと、生徒・保護者・教職員が参加して毎年行っているものです。

お茶の基本的な作法を学ぶ茶道では、しびれる足に耐えながらも静かなひと時を過ごし、ビーチバレーでは、7チームが優勝をめざし白熱したプレー



を展開しました。また木工では、講師の方にアドバイスをもらいながら、それぞれが協力しあつて、2段の引出し付小物入れを作りました。そして料理では、富山の新鮮な魚を使って魚のさばき方を教わり、慣れない手つきながらフクラギとイカのお刺身を作りました。

活動の最後には、参加者全員が家庭科室に集合し、お刺身とアラ汁、おにぎり等を囲んでの昼食会を開きました。体験した活動を身振り手振りで話したり、アラ汁やおにぎりをおかわりする生徒達でとても盛り上がり、今年も楽しい活動となりました。

## シンガポールの中学生も友達だよ

### 婦中地区PTA

今年で10回目を数えるシンガポール中学生との交流が、城山中学校や婦中地区PTA会員などの協力を得て開催されました。この事業は、児童生徒活動協議会が主催し、NPO法人ふちゅうスポーツクラブが主管のもと地域ぐるみで協力し開催されています。

5月28～31日の受け入れ事業では、城山中学校訪問をはじめ、婦中地区でのホームステイや日本文化体験・スポーツ交流等が行なわれました。



8月13～19日の派遣事業では、速星中学校・城山中学校・富山大学人間発達学部付属中学校の生徒19名がシンガポールの文化や生活様式を学びました。現地では3泊4日のホームステイや交流先であるSt.マーガレットセカンドリースクールで授業や部活動を体験、今年シンガポールで行われた第1回のジュニアユースオリピックの会場も視察し、実り多い海外研修となりました。

笑顔いっぱい、実りの秋

太田小学校

お天気に恵まれた10月6日(水)「学校田」の稲刈りが行われました。春から大切に育ててきた稲を、なれない手つきながら元氣いっぱい競い合うように刈り取りました。今年もたくさんさんの保護者の方に応援を頂き、参加者全員で収穫の喜びを分かち合いました。



本校では、5年生がもち米を植え、収穫したものを地域の方々に販売したり、もちをついて食べたりと、生産から販売・消費を一貫して体験します。11月7日(日)に行われたバザーでは、あつという間に完売しました。

親子で「安全マップ」

堀川南小学校

「うん、そうそう、この写真つてここだよ」「ここに草むらあつたから書いてね」「学校はここだよね」これは堀川南小学校の通学ルートの一つをモデルに、「安全マップ」を作っている時の子どもたちの声です。作成場所であるプレイルームいっぱい溢れていました。

近年、小学生が狙われたり、まき込まれたりする事件が多発し、その手口も巧妙になっていることから、もはや家庭や学

バザーのテーマはエコだよ

熊野小学校

10月24日(日)学習発表会とあわせてバザーが開催されました。数年前から、児童が総合学習の時間に「世界の恵まれない子どもたち」のことを調べ発表している様子を見て、私たちPTAも何かできないかとみんなで話し合い、一昨年より環境に配慮したバザーを実施しています。



校など単独での防犯体制や防犯意識に限界がきていると考

え、地域全体で防犯に取り組むようPTAが企画し、今年で4年目となりました。

参加者全員で通学ルートを歩いて廻り、普段から危険だ

と思う場所を再確認したり、新しい危険箇所を発見したりしました。このときのキーワードは「入りやすく、見えにくい場所」です。

またこのような活動が、抑止効果を生み、犯罪を起こしにくい地域とする事が、このイベントの大きな目標

となっています。

堀南つ子を地域全体で犯罪から守る！という熱い思いが込められているイベントなので、皆さんの地域でも実践されてみてはいかがでしょうか？



PTA会員だけでなく、地域の方にも呼び掛けて、うどんコーナーでは「マイ箸」、提供品・仕入れ品コーナーでは「マイバッグ」、セルフ喫茶コーナーでは「マイカップ」を持参した人にはクッキーなどをプレゼント

しました。

また、環境について自ら学んでいたため、「エコ×クイズ」を実施し、大変多くの方に参加していただきました。身近にできることから環境について考えるきっかけになったらと思っています。



# 今年も市P連 がんばっています!!

## 各委員会の活動報告

### 総務委員会

今年度の会長情報交換会は昨年同様「豊かな心を持ち、たくましく生きる力を持った子どもたちを育てるために」をテーマに7月10日(土)県民会館にて開催されました。

全体会では富山県PTA連合会の教育環境問題委員会の皆様による「携帯・インターネット安全教室」を行いました。携帯電話やメールに関するトラブルの様子をとりあげたDVD映像を交えながら行っていたいただき、利便さ以上に怖さがあることを実感しました。



### 厚生委員会

今年度の「子どもたちの心と体の健康を考える集い」は、福井市から前川勝己講師をお招きして、サブテーマ「家族のぎざぎざ生きる力のみなもと」と題して、9月18日(土)婦中町ファボーレホールにて96名の参加で開催しました。

分科会では6グループに分かれて意見交換を行いました。

各学校が抱えている問題も様々で、バザーなどの同じテーマであったり、又非常に深刻な問題であったりと、とても人事では済ませないような意見も多数発言され、とても有意義な時間を過ごせたのではないかと感じました。

最後になりましたが、この会を運営及びサポートしていただいた、総務委員会の皆様、分科会司会者、司会補佐の皆様、そして市P連役員の皆様に感謝申し上げます。



ご自身の教員時代の体験を具体的事例として、わかりやすく「親のありよう」を説いていただきました。

「親は子の鑑(手本)、子は親の鏡(自分の姿を映し出す)」

「子どもは、いうことは聞かないが、親のまねはする」

わが子ども、何も教えないのに私の悪いところをまねしています。子どもを叱る前に、自分を省みて正すべきところは正すというように、親自身が変わっていくことによって、子どもが変わっていく。前川講師の貴重なお話から子育ての真理を教えてくださいました。できることを少しでも実行し、わが家の子育てに生かしていきたいです。



冒頭、約90年前インドで発見された、狼に育てられた少女の話で、当たり前のことですが「人間は、人間になる教育を受けて初めて人間になれる」という事を再認識し、わが子を社会性のある人間に教育することへの、親としての責任を痛感しました。



## 生涯学習委員会

11月7日(日)芝園中学校にて中学生懇談会を開催しました。市内27校男女各1名、計54名の中学生が参加し、「いま、自分が思うこと、感じることをテーマに意見交換を行いました。

事前に各中学校にアンケートを実施しました。それを基に羽岡ゆみ子県PTA連合会アドバイザーに問題提起をしていただき、分科会ごとに、親子のコミュニケーションについて、学校、友達についてや将来についてな



ど生徒が意見交換を行いました。中には分科会の司会者がほとんど発言することなく、生徒同士が熱く想いを語っている分科会もありました。

最後に分科会で話しあったこ

## 教育問題委員会

教育問題委員会では、11月20日(土)大久保ふれあいセンターにて、教育問題懇談会を開催しました。メインテーマを昨年度に引き続き「教育ルネサンス」とし、生涯学習開発財団認定コーチの遊道直美さんを講師に迎え、「子どもの「自己肯定感」を育み、子どもも自分もよりHAPPYになるコミュニケーション」と題し、コミュニケーションスキルを学びました。

当日は、200名を超える参加者

が、2人1組、4人1組等になり、グループワーク形式で行われました。参加者同士の対話から、コミュニケーションのポイントとその効果や、相手や、相手のプラス面をみることを、相手を力づけるメッセージをもつことなど、自己肯定感を育むこ



とを発表していただき、羽岡アドバイザーに成長段階における中学生の心理などのお話を伺いました。

生徒が今の自分を自分の言葉でしっかりと発言している様子に子どものたくましさ、成長を感じた中学生懇談会でした。



とを意識したコミュニケーションの大切さ学びました。参加者同士が対話をする中で、会場はリラックスした雰囲気の中にも熱気にあふれていました。懇談会に参加していただいた皆様、それぞれ「明日から実践できる一歩」と笑顔を持ち帰っていただいたと思います。



## 特別委員会 組織改革推進会議

新富山市合併と同時に市P連も広域合併し新市P連として活動してきましたが、この5年間で新市P連としての一体感も深まってきました。しかし、合併過渡期を過ぎた今、これからの市P連を見直す時期が来たと感じます。

来年度の総会で新しい市P連の形を提案すべく、組織改革推進会議が議論を重ねています。

そこで、藤井会長に市P連の改革に関してQ&Aでお答えいただきました。



Q: 単Pの負担平準化の基本的な考え方は?

A: 単Pや各中学校ブロック毎の会員数を考慮し、出来る限り公平で無理のない出向者数にするよう配慮していくつもりです。

Q: 新たな課題に対する対応は?

A: 変えてはならないもの、変えなければならぬもの、しっかりと見極め、連絡協議会としての本来の役割を再認識し、会員である単P相互の情報交換や、教育関係機関との連携の強化、必要な情報の収集と発信に力を入れていきたいと思えます。

Q: 役員や委員会の構成なども変わりますか?

A: 単P連の委員会数の見直しはもとより、出向者数の見直しにも着手しております。

Q: 今後のスケジュールは?

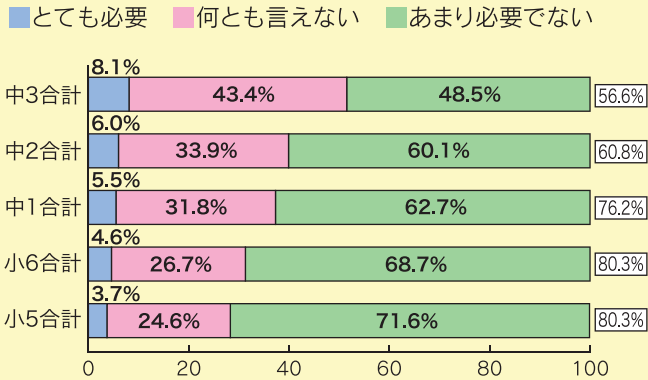
A: 11月の評議員会で方向性を示し、2月の評議員会で審議したうえで、5月の新年度総会で承認をいただきたいと思っております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



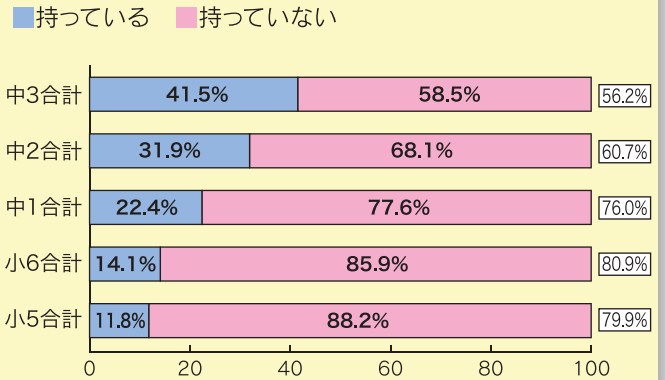
# 携帯に関するアンケート結果 <平成22年度版(抜粋)>

富山市PTA連絡協議会では、今年度、富山市内の小学5年生から中学3年生までの保護者(19,395名)を対象に携帯電話に関するアンケートを実施しました。その結果の一部をこの紙面に掲載しました。設問は11問で、詳細はHP(アドレスは表紙下欄に記載)をご覧ください。アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。(グラフ右側の四角内の数字は、その設問の回答率です。)

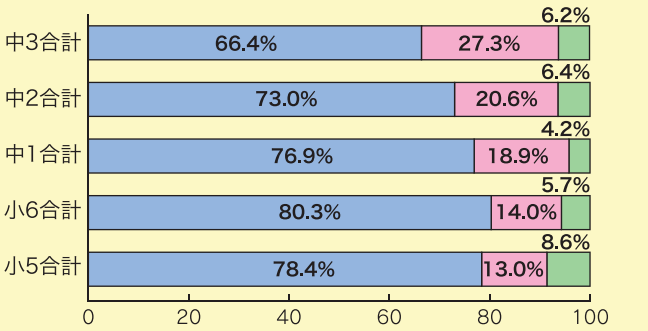
質問1 お子さんの携帯電話の必要性について



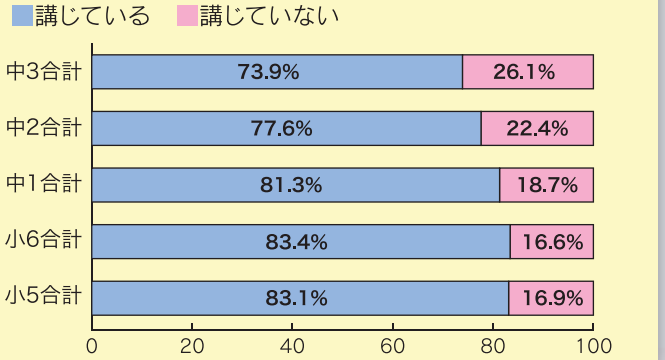
質問2 お子さんは携帯電話を持っていますか。



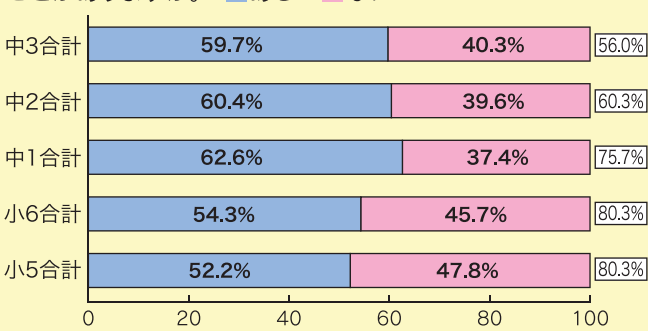
質問5 携帯電話を与える際、使用の決まりについて話し合いましたか。



質問7 有害サイトへの遮断対策(フィルタリング等)を講じていますか。



質問10 学校で携帯電話メールやインターネットに夢中になって学業がおろそかになっている状況があることを聞いたことがありますか。



現在、公衆電話の設置場所が減ってきており、携帯電話を連絡の手段として考えている方もいると思います。

しかし、**文部科学省は小中学生の学内への携帯電話の持ち込みを原則禁止する**と通達しています。

携帯電話を子どもに持たせている保護者の皆さんは、再度子どもと使い方について話し合ってみてはいかがでしょうか。これから携帯電話を持たせようと考えている保護者の方は、本当に必要なのか、どのような使い方が子どもたちにとって安全かを考え、機能を限定させるなどの対策をとられてはどうでしょうか。

◆編集後記  
皆様のおかげで広報「Re」84号を発行できました。何か一つでも皆様の活動のヒントになれば幸いです。

- 平成22年度広報委員
- |             |             |             |             |            |             |            |             |             |              |             |             |             |             |            |             |             |              |             |             |            |             |              |             |             |            |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| 庄司 昌弘 (呉羽小) | 深美 忠司 (堀川中) | 渡辺 友久 (付属小) | 中谷 忠義 (城山中) | 稲垣 忍 (鶴坂小) | 井出 貴子 (杉原中) | 小林 桂 (八尾小) | 永井 勝信 (小見小) | 出戸 隆志 (船峠小) | 串田 幹夫 (藤ノ木小) | 黒崎 恵子 (興南中) | 高田 秀二 (八幡小) | 永原 春美 (三成中) | 滝脇 幸子 (呉羽中) | 亀谷 浩 (月岡小) | 森泉 聡子 (奥田小) | 中川 啓輔 (豊田小) | 山元 一志 (新庄北小) | 山口 貴久 (豊田小) | 桑名 克成 (光陽小) | 中村 隆 (五福小) | 高松 桂子 (柳町小) | 藤井 孝昭 (堀川南小) | 町村 英俊 (芝園中) | 貴堂 貞夫 (山室中) | 門島 衛 (四方小) | 山崎 義明 (奥田中) |
|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|-------------|